

津波から「逃げ切る！」ために



和歌山県

～東海・東南海・南海3連動地震、南海トラフ巨大地震による津波に備えて～

避難三原則

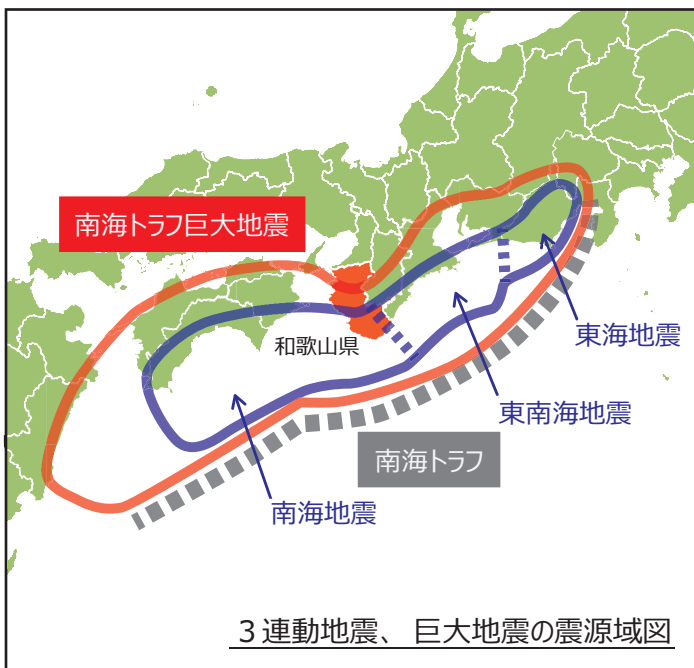
- ① 想定にとらわれない
- ② 最善を尽くせ
- ③ 率先避難者になれ

津波から逃げ切る！



【はじめに】地震・津波に備えましょう！

この度、県民の皆様とともに取り組む津波対策の概要をまとめました。日頃から地震や津波に備え、あらかじめ避難先や避難経路を家族で話し合い、どこに逃げるかを決めておき、「揺れたら逃げる」の意識をもって、いざというときは迅速に避難しましょう。



東海・東南海・南海3連動地震 [マグニチュード 8.7]

南海トラフ沿いの3つの領域（東海・東南海・南海）では、約90年から150年周期で繰り返し津波をともなう地震が起きています。

3つの地震が同時に起こることを3連動といい、国が宝永地震、安政地震など実際に発生した地震を基に想定したもので、特に大きな被害が想定されます。

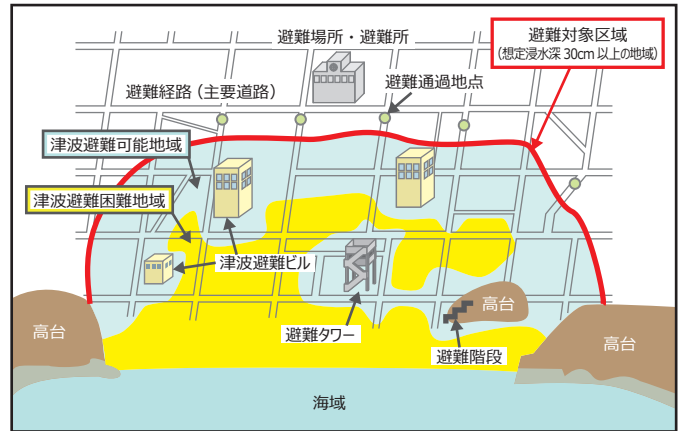
南海トラフ巨大地震 [マグニチュード 9.1]

東海・東南海・南海地震の震源域より、さらに広域の震源域で地震が連動した場合の最大クラスの地震です。実際に発生したことを示す記録は見つかっておらず、発生頻度は極めて低いですが、仮に発生すれば極めて甚大な被害が予想されます。

1. 津波避難困難地域と津波対策

(1) 津波避難困難地域

一定の避難条件（地震発生後5分で避難開始、移動速度：30m/分など）で津波到達までに安全な場所まで逃げ切ることが困難な地域を“津波避難困難地域”として抽出しました。この地域の解消に向けて今後重点的に対策を進めていきます。

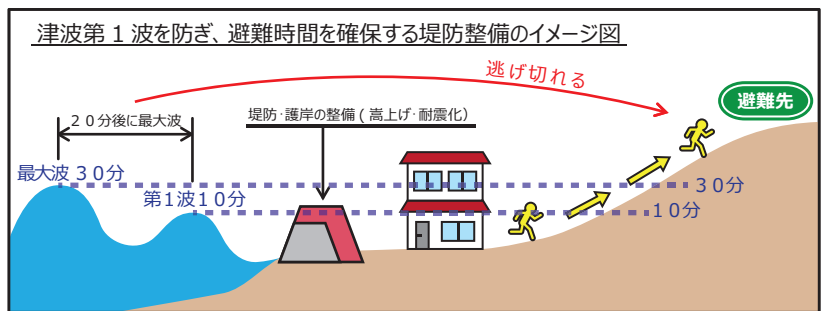


津波避難困難地域については、防災わかやまホームページ (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/011400/index.html>) の「和歌山県の津波避難困難地域と津波対策」からご確認ください。

(2) 3連動地震による津波への対策

① 3連動地震の津波避難困難地域(4町22地区) … 今後概ね10年で対策を行い、津波避難困難地域を解消

市町名	地区名
すさみ町	周参見
串本町	江田、田並、有田、高富、二色、串本*、大島、伊串、津荷、田原
那智勝浦町	浦神、粉白、下里*、二河、築地*、勝浦、天満*、浜ノ宮、宇久井*
太地町	太地*、常渡



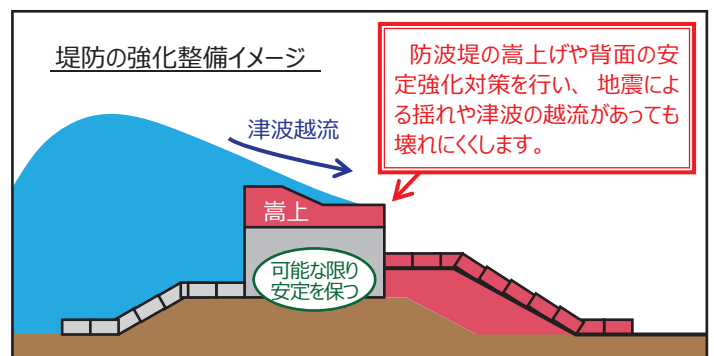
*印は堤防の整備を行う地区
堤防の整備は、津波の第1波を防ぎ、避難時間を確保できるようにします。

② 3連動地震の津波避難困難地域以外の津波対策

経済被害を抑え、早期の復旧復興につなげるため、避難路・避難施設の整備や公共施設の高台移転等とともに、地域を守る堤防等の整備（下記一覧参照）を含めた対策を10年を目途に実施します。

【堤防整備の対象市町】(15市町[6港湾、10漁港])

市町	施設名	市町	施設名
和歌山市, 海南市	和歌山下津港	御坊市	塩屋漁港
和歌山市	和歌浦漁港	印南町	印南漁港
有田市	箕島漁港	みなべ町	堺漁港
湯浅町, 広川町	湯浅広港	田辺市	田辺漁港, 文里港
由良町	由良港	すさみ町	周参見漁港
日高町	阿尾漁港	串本町	有田漁港, 串本漁港
御坊市, 美浜町	日高港	新宮市	新宮港



3連動地震の津波対策の事業費(概算)

	津波避難困難地域の解消対策	津波避難困難地域以外の津波対策	計
市町の対策(避難路・避難階段の整備、津波避難施設の整備等)	23億円	200億円	223億円
県の堤防等整備(堤防・護岸の高上げ、耐震化等の整備)	100億円	360億円	460億円
計	123億円	560億円	683億円

※県の事業費には、堤防整備以外の事業は計上していない
※県の堤防整備には、県が実施する事業の事業費のみを計上

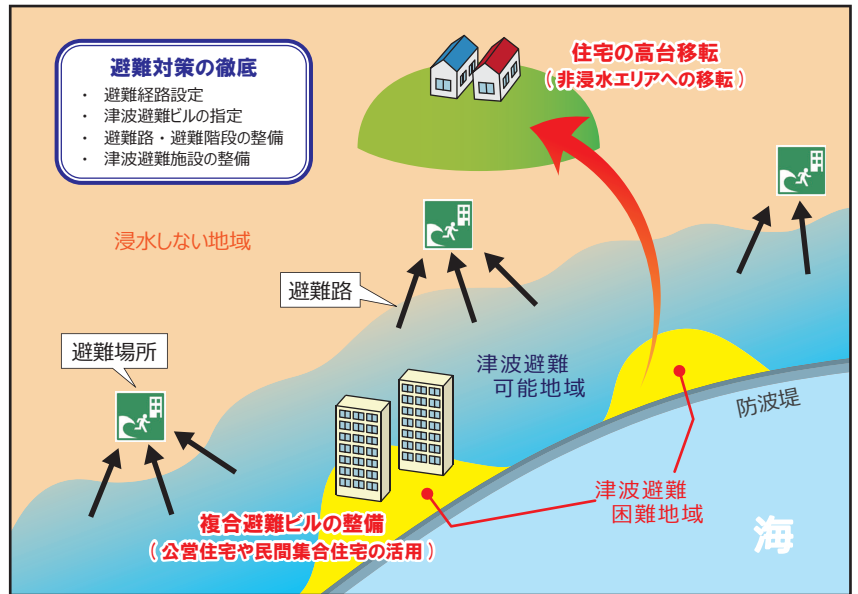
(3) 巨大地震による津波への対策

避難者が逃げ切れるよう、津波避難ビルの指定や、避難路、避難階段、津波避難施設等の整備を進めます。
また、津波の到達時間が早い紀南地域においては、高台移転や複合避難ビル等構造物の整備等による地域改造も含めた対策の検討を行っていきます。

高台移転や複合避難ビル等構造物の整備等による地域改造のイメージ

巨大地震の津波避難困難地域 (12市町61地区)

御坊市 (1地区)	白浜町 (11地区)
田辺市 (5地区)	すさみ町 (6地区)
新宮市 (2地区)	串本町 (18地区)
美浜町 (1地区)	古座川町 (1地区)
印南町 (2地区)	那智勝浦町 (10地区)
みなべ町 (1地区)	太地町 (3地区)



巨大地震による津波避難困難地域の解消に向けて、津波避難困難地域が存在する12市町に設置された協議会において、津波から逃げ切るために策定した対策の具体化の協議を進めます。

津波から逃げ切るための 対策のイメージ

■ 耐震改修・津波避難ビルの指定



■ 津波避難タワー等の整備



■ 住宅、公共施設等の高台移転
市町庁舎、消防本部、警察、幼稚園、学校、福祉施設、病院等

■ 避難路・避難階段の整備



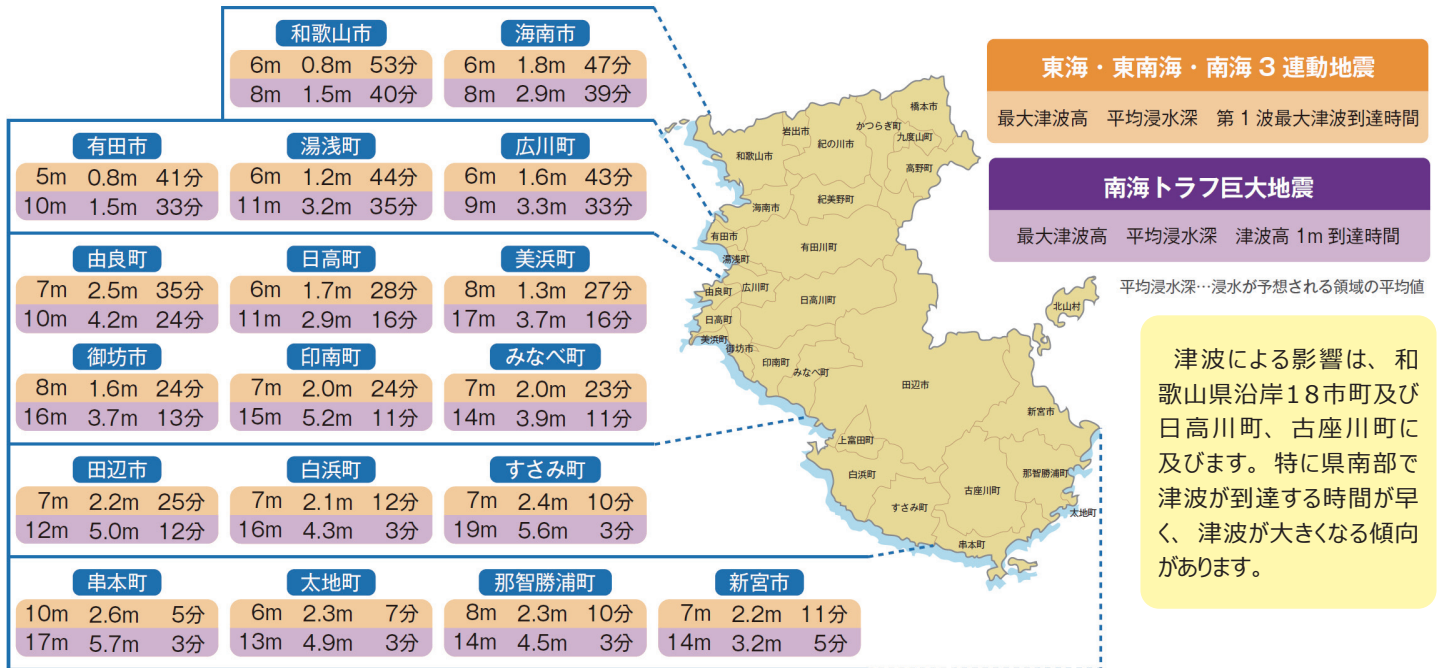
■ 堤防等の整備



2. 3連動地震と巨大地震による想定津波

和歌山県では、県民に正しく伝え「正しく恐れる」ことを周知するとともに、防災・減災対策を着実に進めていくため、3連動地震及び南海トラフ巨大地震の2つの津波浸水想定を平成25年3月に公表しています。

2つの規模の想定津波の最大津波高、平均浸水深、到達時間



3. 津波から「逃げ切る！」ための避難の考え方

津波から逃げ切るためには、津波避難困難地域の有無にかかわらず、迅速な避難行動をとることが必要です。浸水区域外の高台などのより安全な場所へ避難することが基本ですが、時間的に余裕が無い場合は、緊急避難先の津波避難ビルや避難タワーへ逃げましょう。

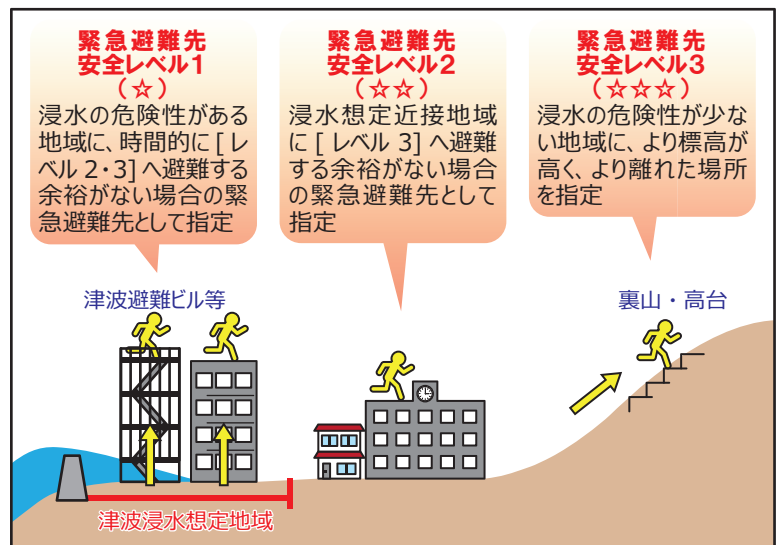
より安全な場所へ迅速に避難しましょう

県では、県民が「津波から逃げ切る」ことができるように、緊急避難先の安全レベルを設定しています。

確実に避難できるように、市町作成の津波ハザードマップなどで事前に避難先を確認し、より安全な場所に迅速に避難できるようにしてください。

避難訓練に積極的に参加しましょう

日頃の防災訓練や家庭での防災の取組が、災害時に命を守るにつながります。避難訓練に積極的に参加するとともに、住宅の耐震化や家具固定を行い、防災力を高めましょう。



和歌山県危機管理局・県土整備部

発行 平成27年3月

〒640-8585 和歌山市小松原通1-1 [TEL] 073-441-2262 (危機管理局)
 [URL] <http://www.pref.wakayama.lg.jp/bousai/index.html> (防災わかやまホームページ)